

春日市  
地域活動  
指導員だより

No.106

2016.9月号

# いん

地域の未来へつなぐ活動情報紙

発行：春日市教育委員会  
社会教育課

TEL 092-575-4121  
FAX 092-593-7380

地域で子どもを育てる活動情報をお寄せください(イベント予告可)地域活動指導員が取材に伺います。

## 夏休みのイベント

### 地域で行われたキャンプや体験活動をご紹介します!!

夏休み期間中に各地域で子どもたちのためのさまざまな体験活動が行われました。

参加した子どもたちは、真剣に工作や実験に取り組んだり、汗をたくさんかいたりしながら野外で元気に活動していました。

また、こういった活動のサポーターとして、いきいきと活躍する地域の方や中学生ボランティアの姿も数多く見られ、地域行事やイベントなどを盛り上げていました。

#### 春日東小&大谷小合同校内キャンプ



春日東小学校

春日東小学校と大谷小学校の子どもたち339名が参加した校内キャンプでは、カレー作りやキャンプファイヤーを体験しながら、子どもたち同士交流を深めることができました。

#### 公民館学習会(天神山小学校区)ものづくり教室



天神山公民館

1年生から6年生までの小学生が「ものづくり」に挑戦しました。立体的なメッセージカード、竹とんぼや紙細工にチャレンジしました。

#### 小倉東公民館理科実験教室



小倉東公民館

春日東中学校の先生ご指導のもと行われた理科実験教室には小倉東地区の子どもたち39名が参加しました。春日東中学校の生徒6名もボランティアとして参加し、理科実験をサポートしました。

#### 奴国の丘サマーキャンプ

奴国の丘サマーキャンプ実行委員会主催



佐賀県黒髪少年自然の家キャンプ場

市内の小学校4年生から6年生までの34名が参加し、テント泊や飯ごう炊飯などを体験しました。ウォークラリーでは、「失われた宝」を探すために、地図を頼りにチームで力を合せてゴールを目指しました。

## トピックス

# 元気ワクワク料理クラブ



7/16(土)下白水南公民館で「元気ワクワク料理クラブ」がスタートしました。

子どもたちに「食べることは生きること」というメッセージを伝えたいと地域の大人たちが始めたこのクラブにはたくさんのボランティアの方が関わっています。運営に係る経費や食材は、賛助金や地域の方が作った野菜を提供していただくなど、皆さんの善意で賄われています。

この日は、約100名の大人と子どもが参加しみんなで楽しくカレーを食べました。子どもたちみんなで考えた名前「元気ワクワク料理クラブ」。この名前のとおり子どもたちは、料理のお手伝いをしたり、食育の話を聞いたり、遊んだりと元気でワクワクする時間を過ごしていました。2回目以降は、下白水南地区の浄運寺で行われます。

## 春日市六中サミット・生徒会サミット 実践発表会 & 出前トーク「市長と語る」

春日市青少年育成市民会議主催

8/24(水) スプリングホールにて市内6中学校の生徒会役員との出前トーク「市長と語る」が初めて開催されました。直接、市長や市幹部と意見交換ができる良い機会とあって、中学生からは「春日市をどんなまちにしたいのか」という政策に関する質問や「スポーツセンターを中学生だけでも利用できるようにしてほしい」という具体的な要望など次々に意見が出されていました。自分たちが住んでいる春日市に対する関心の高さを感じました。



## 夏のふれあい体験王国

春日市あそび名人の会主催

春日市ふれあい文化センター旧館2階の各部屋を使って行われた、夏のふれあい体験王国は200名を超える子どもたちが来場し、竹細工や紙細工などのものづくり体験やけん玉、こま回しなどの昔遊び体験にチャレンジしました。

竹のパーツを羽の形に削って、きれいにサンドペーパーで磨きをかけて完成させた竹とんぼなど、自分で作ったオリジナルの素朴なおもちゃを嬉しそうに持ち帰る子どもたちの笑顔がありました。

また、子ども以上に熱心に体験にいそしむ保護者の姿も見られました。



## 家庭教育学級夏休み親子de参加

### ～ペットボトルピザ作り～

子どもたちの夏休みに合わせて、家庭教育学級は学級生のお子さんも「学級生」の仲間入りをします。親子講座の第1弾はペットボトルピザ作り。

生地はペットボトルに材料を入れて振り混ぜ、体温で温めれば発酵してできあがり。ペットボトルのふたを開ければあら不思議、生地がスポン！とでできます。これを焼いてできたピザはどれも違う味でどれも美味。災害時にも簡単に出来るペットボトルピザをみんなで楽しくおいしく体験することができました。



## 子ども絵画ワークショップ

春日市弥生の里児童画大賞展の一環として「子ども絵画ワークショップ（壁画編）」が開催されました。25回を迎えた児童画展にちなんで、お題は「僕らの25歩」。吉村 形(よしむら けい)先生の指導を受けながら3メートル近い画用紙に、かすがの昔・今・未来を子どもたちが伸びやかに描きました。絵の中には参加した子どもたちの「足あと」が25歩描かれているのも見どころ。児童画展のテーマどおり、「感じるまま、思うまま、自由に」描かれたすばらしい大作は、ワークショップ（立体編）でつくられるオブジェと共に、9月にふれあい文化センター旧館ロビーに、来年1～2月にはギャラリーに展示されます。児童画展の作品と合わせてお楽しみください。



## 春日市小学生読書リーダー養成講座

夏休み期間中にふれあい文化センターの諸室を利用し、各小学校で活躍する小学生読書リーダーを養成する講座が開催されました。これは読書活動を推進する取り組みの一つで、本のPRのためのポップ作りや読み聞かせの方法、絵本の選び方などについて学びました。

また、普段は入る事ができない図書館の裏側をめくりながら、図書館の仕組みについても知ることができました。この講座をとおして学んだことを各小学校での図書活動に活かしてほしいと思います。



# 春日市弥生の里児童画大賞展 作品募集!!

県内小学生を対象とした絵画コンクールを開催します。

出品は無料です。自分の描きたいものを感じるまま、自由に描いてください。

## 募集テーマ（自由設定）

感じるまま、思うまま、自由に描こう

## 応募対象

福岡県在住の小学生（1年生～6年生）

## 絵の大きさ

38cm×54cmの四つ切画用紙

## 応募しめきり

10/31（月）必着!

詳しい応募方法は、学校から配付していますチラシをご確認いただくか、社会教育課へお問合せ下さい。（TEL 575-4121 平日午前9時～17時）

たくさんのご応募  
お待ちしております!!



## キラリ春日の人

★ 惣利平成龍保存会

★ 会長 稲永 勝英さん ★



惣利地区にお住まいの稲永さんは、平成13年に発足した「惣利平成龍保存会」の会長を務めています。同会は、地域の活性化と子どもの健全育成を目的に地区のお祭りや様々なイベントで龍踊りを披露しています。平成25年からは博多三大祭りの一つである「博多どんたく港まつり」にも参加して活動の幅も広がっているようです。

もともと、子どもたちのために地区の夏祭りで鷹やゴジラなどをモデルにしたみこしを作製していたのが始まりでしたが、白水池には龍が住んでいたという伝説があったことから、みこしではなく現在の龍踊りへと姿を変えていったそうです。シンボルである龍は、稲永さんが身近にある材料を使いすべて手作りで作製しています。龍のウロコは奥様と二人で一枚一枚丁寧に何度も重ね塗りをして仕上げるそうです。本格的な指導を受けたことはないそうですが、日頃から油絵や和太鼓など多彩な才能をお持ちの稲永さんだからこそなせる技だと思います。

惣利地区に住み始めた40数年前から地域の子もたちに少林拳を指導していた稲永さん。「私は、子どもの笑顔を見るのが好きなんです。ごく普通に自分にできていることをしているだけですよ。」「他人にできることは自分にもできる！が私のポリシーです。これからも、地域のため子どもたちのために色々なことにチャレンジしていきます。」といきいきとした笑顔で語ってくれました。

稲永さんが作る龍には命が宿っているかのような迫力があります。是非一度、力強い踊りを見てみてください。